

NetVista Kiosk 4835-120
DBCS モデル プリンター・フィーチャー



ハードウェア保守マニュアル補足資料

NetVista Kiosk 4835-120
DBCS モデル プリンター・フィーチャー



ハードウェア保守マニュアル補足資料

この補足資料をご使用になる前に、*NetVista Kiosk Safety Information*、GA27-4294 をお読みください。

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

本書は定期的に見直され、必要な変更 (たとえば、技術的に不適切な記述や誤植など) は、本書の次版に組み込まれます。IBM は、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書に対するコメントを下記のアドレスにお寄せください。

〒242-8502 神奈川県 大和市
下鶴間 1623-14
日本アイ・ビー・エム株式会社
大和事業所

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。IBM 製品に関する技術情報は、IBM 認定再販売者または IBM 営業担当員 までお問い合わせください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： GY18-2417-00
NetVista Kiosk 4835-120 DBCS Model Printer Feature
Hardware Service Manual Supplement

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2001.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

IBM Corporation 2001. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2001

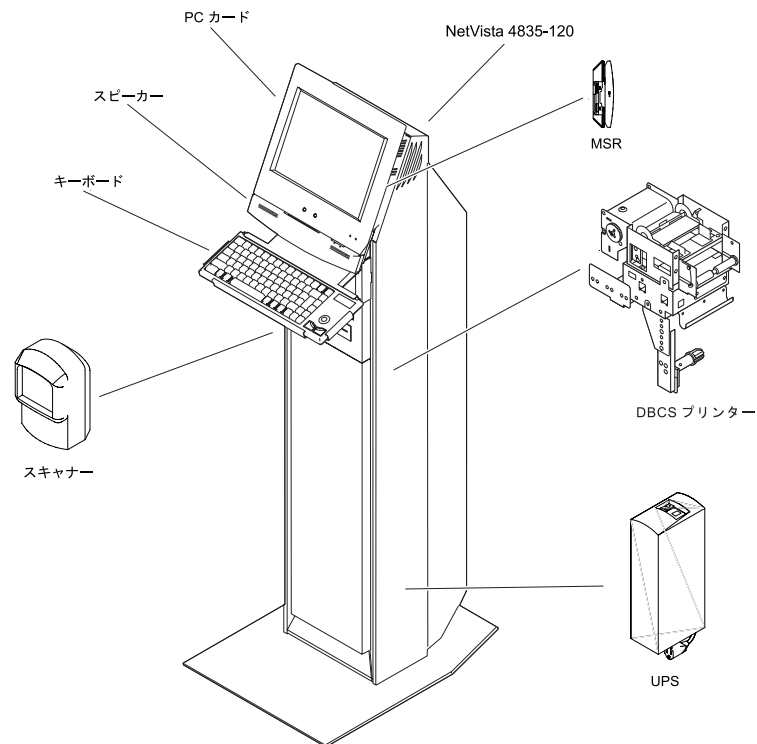
目次

NetVista Kiosk DBCS モデル	1
関連資料	1
機能の相違	2
物理的な相違	3
NetVista Kiosk の電源をオフにする	4
ロール紙の取り付け	5
プリンター・テストの印刷出力	9
トラブルシューティング	11
予備的なチェックリスト	11
LED を介した問題の解決	12
診断	13
プリンター・ユニットの取り外しと取り替え	22
プリンターの電源機構の取り外しと取り替え	26
UPS の取り外しと取り替え	27
パーツのアセンブリー	30

NetVista Kiosk DBCS モデル

本書は、NetVista™ Kiosk 4835 ハードウェア保守ガイド、GY88-8014 を補足する資料であり、このモデルの 2 バイト文字セット (DBCS) プリンターのフィーチャーについて説明します。本書は、以下のフィーチャーに適用されます。

- F/C 4897 58mm DBCS プリンター
- F/C 4898 80mm DBCS プリンター
- F/C 4899 112 mm DBCS プリンター



関連資料

以下の IBM の資料は、IBM Retail Store Solutions の Web サイトから入手できます。これらの資料にアクセスするには、以下に挙げることを行います。

1. www.ibm.com/solutions/retail/store/ にアクセスする。
2. 「Support」、次いで「Publications」を選択する。
 - Safety Information -- Read This First, GA27-4004
 - NetVista Kiosk Safety Information -- Read This First, GA27-4294
 - NetVista Kiosk 4835 インストールおよび操作ガイド、GA88-8234
 - NetVista Kiosk 4835 システム・リファレンス、SA88-8235
 - NetVista Kiosk 4835 ハードウェア保守ガイド、GY88-8014

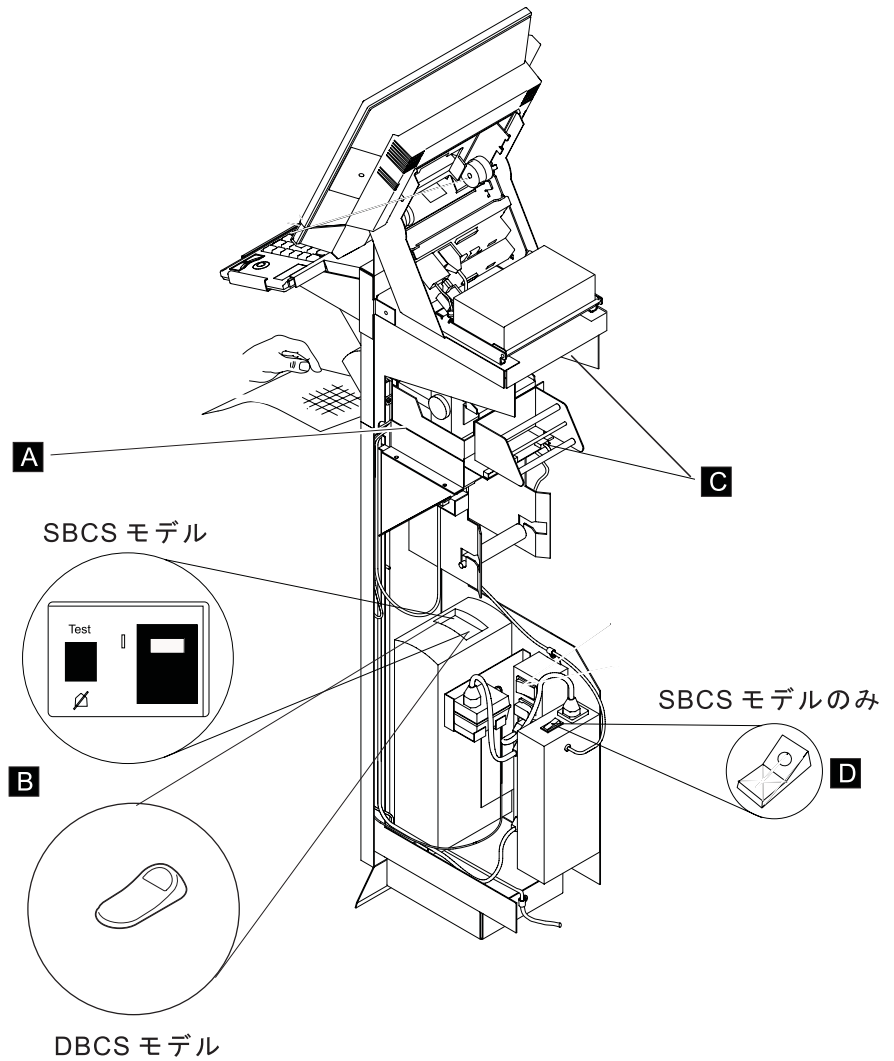
機能の相違

次の表に、1 バイト文字セット (SBCS) モデルと、2 バイト文字セット (DBCS) モデルとの間の機能の違いを示します。

SBCS モデル	DBCS モデル	ハードウェア保守ガイド の参照ページ
選択可能な感熱式プリンター用紙幅: <ul style="list-style-type: none"> • 80 mm • 112 mm 	選択可能な感熱式プリンター用紙幅: <ul style="list-style-type: none"> • 58 mm • 80 mm • 120 mm 	2、3、25
サポートされているオペレーティング・システム: <ul style="list-style-type: none"> • Windows NT 4.0 • Windows 98 Second Edition • Windows 2000 	サポートされているオペレーティング・システム: <ul style="list-style-type: none"> • Windows 2000 	3、36
サポートされているデバイス・ドライバ: <ul style="list-style-type: none"> • CDS • Windows 98 • Windows 2000 • Java POS 	サポートされているデバイス・ドライバ: <ul style="list-style-type: none"> • Windows 2000/OPOS 	3
API <ul style="list-style-type: none"> • 直接のハードウェア • POS (OPOS) 用 OLE • CDS ドライバ • Java POS 	API <ul style="list-style-type: none"> • 直接のハードウェア • POS (OPOS) 用 OLE 	4
プリンター・テストの印刷出力	プリンター・テストの印刷出力 (9ページの『プリンター・テストの印刷出力』を参照)	62、63
デフォルト・プリンターおよび周辺パラメーター: <ul style="list-style-type: none"> • 56000 bps • 8 データ・ビット • パリティなし • 1 ストップ・ビット 	デフォルト・プリンターおよび周辺パラメーター: <ul style="list-style-type: none"> • 38400 bps • 8 データ・ビット • パリティなし • 1 ストップ・ビット 	61

物理的な相違

次の図は、SBCS モデルと DBCS モデルとの間の主な物理的な違いを示します。

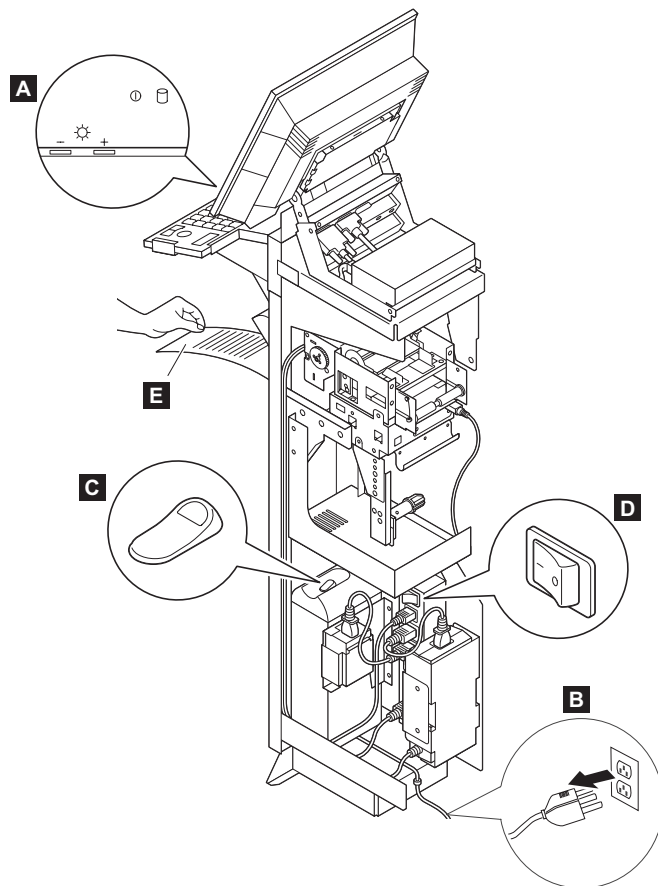


ハードウェア	ハードウェア保守ガイドの 参照ページ
A プリンター	14、23、24
B UPS スイッチ	14、23、24
C プリンター状況インディケータ	23、24
D 電源供給ストリップのスイッチ	23、24

NetVista Kiosk の電源をオフにする

次の電源オフ手順を使用して、NetVista Kiosk の各コンポーネントの電源がオフになっていることを確認してください。

1. 4835 システムの電源のオフにするには、紙クリップを使用して電源ボタンを押します。電源ボタンは、4835 ディスプレイの前面下端にあります。ディスプレイの表示ライト **A** は点灯しません。
2. NetVista Kiosk のエンクロージャーから外部 AC 電源コンセントに接続されている電源コード **B** をコンセントから外します。
3. エンクロージャーをアンロックして、エンクロージャーの前面を手前にスライドします。ハードウェア保守ガイド の、10 ページの『エンクロージャーを開く』を参照してください。
4. オプションの UPS (取り付けてある場合) の電源スイッチ **C** をオフにします。
5. 電源供給ストリップ **D** をオフにします。
6. **E** の位置に白色の用紙を持っていき、スキャナーの電源がオフになっていることを確認します。赤色ライトのパターンは表示されないはずです。



ロール紙の取り付け

重要:

1. この装置に触れる前に身体を接地してください。詳しくは、ハードウェア保守ガイドの、164 ページの『静電気の放電 (ESD)』を参照してください。

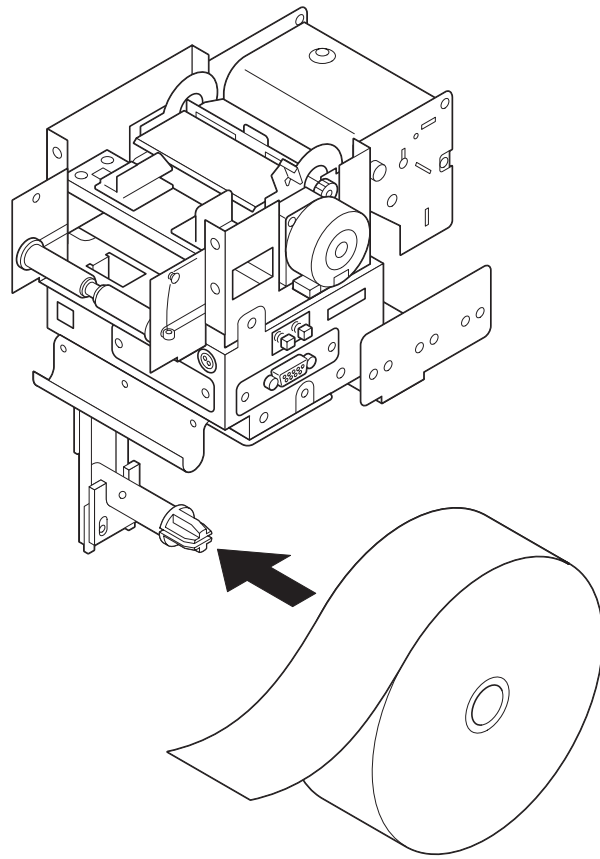


図1. プリンターの注意ラベル

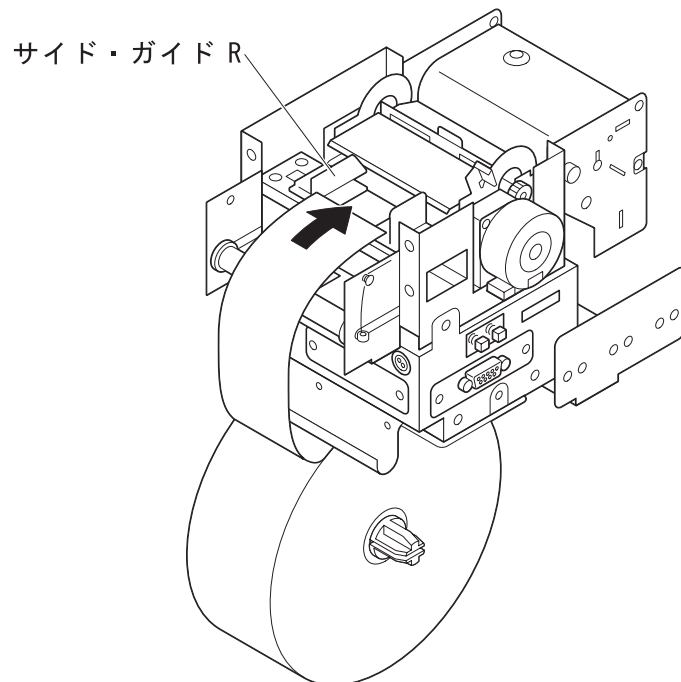
2. 用紙先送りボタンあるいは電源ボタンを押すときには、ペーパー・カッターに指を近づけないでください。
3. システムの電源がオンになっていることを確認してから、ロール紙を取り付けてください。詳しくは 4 ページの『NetVista Kiosk の電源をオフにする』を参照してください。
4. この製品に指定されている品質以外の用紙を使用しないでください。品質の低い用紙を使用すると、印刷品質、印刷ヘッドの寿命、および、プリンター機構に悪影響を及ぼすことがあります。NetVista Kiosk は、58 mm、80 mm、または、112 mm の感熱式プリンターをサポートします。

ロール紙を取り付けるには、次のステップを実行してください。

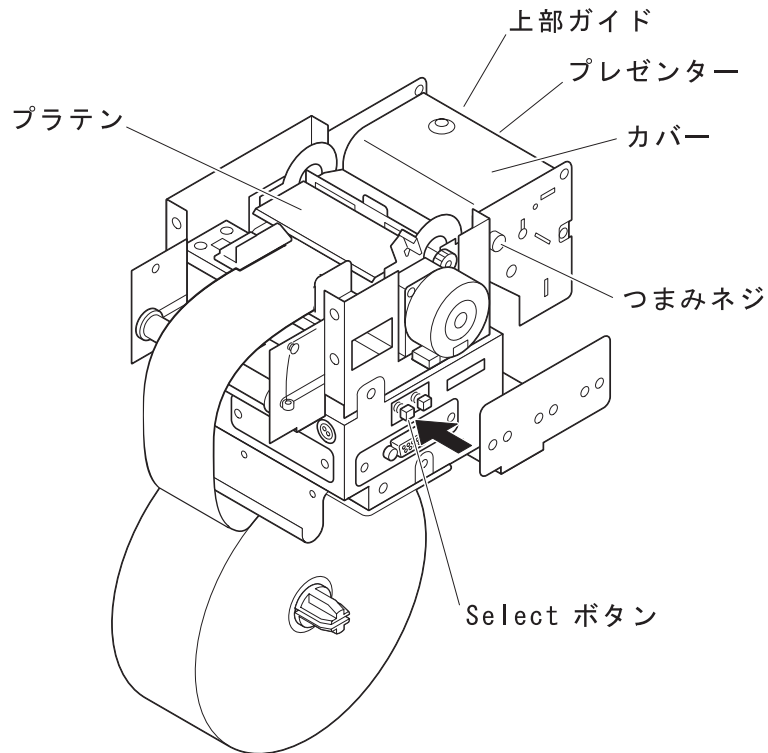
1. ロール紙の感熱側が上を向くようにしてロール紙を持ちます。
2. ロール紙の芯を可動シャフトに位置合わせし、ロール紙をシャフトの奥まで挿入してください。挿入したあとで、次のことを確認してください。
 - 可動シャフトの先端が見える。
 - ロール紙がその芯に正しく位置合わせされている。
 - ロール紙が滑らかに回転する。
3. 用紙の挿入方法のラベルを参照しながら、ロール紙の印刷側 (感熱側) がテンション・ローラーのテンション側と接触するようにして、ロール紙をテンション・ローラーに沿って動かします。



4. ロール紙をサイド・ガイド R のスリットに挿入してください。用紙はスリットの中に 400 ドット行分 (約 50 mm) 自動的にフィードされ、プリンターはオフライン状態になります。



5. Select ボタンを押して用紙を送り、プリンターをオンライン状態にしてください。



注: 自動ロードの場合、以下の状態のもとでは、用紙はプリンターに自動的にフィードされません。

1. プラテンが開いているとき。プラテンを必ず閉じてください。
2. プレゼンター上の上部ガイドが開いているとき。上部ガイドを必ず閉じてください。
3. プレゼンターの中に用紙が残っているとき。Feed ボタンを押して、用紙を取り除いてください。あるいは、つまみねじを緩めて、カバーを開け、用紙を取り除いてください。
4. 用紙切れエラーがコマンドによって使用不可になっているとき。用紙をセットし直してください。

重要: 自動ロードの場合は、以下の点を守ってください。

1. 下図に示すように、用紙の角度がフィード方向に 60° ~ 90° になるように、用紙の角を切ってください。

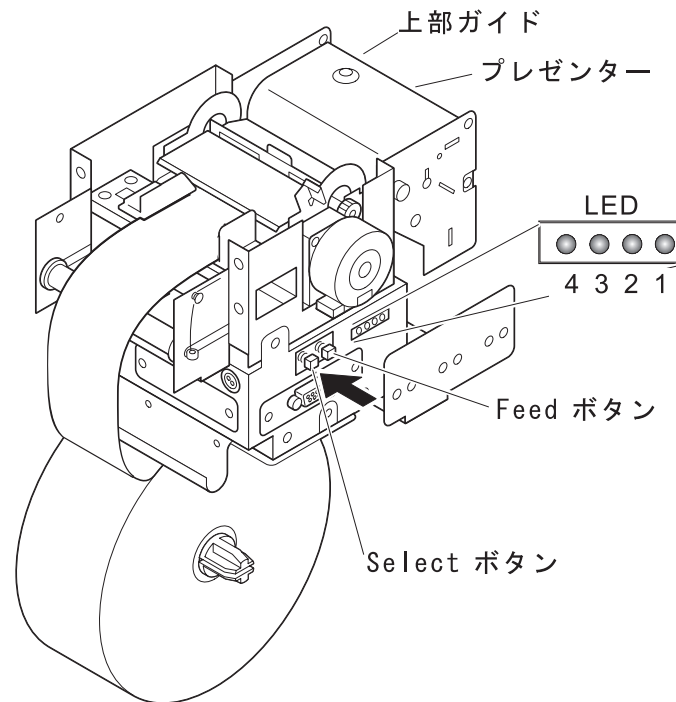


2. 用紙を挿入するとき、プラテンおよびプレゼンター上の上部ガイドが閉じていることを確認してください (プレゼンターが接続されている場合)。
3. 用紙が曲がっている場合は、プラテンを開けて、用紙がまっすぐになるように直してください。
4. プリンター・ユニットのプラテンが閉じたままになっている場合は、感熱式印刷ヘッドがプラテンに接しているために、用紙が挿入されません。この場合は、プラテンを開いてから、用紙を挿入してください。

プリンター・テストの印刷出力

プリンターは機能設定やキャラクタを印字するテスト印字機能を持っています。印刷出力をとるには、プリンターの電源をオンにするときに Feed ボタンを押したままにします。

次の図は、プリンターのテストで使用されるボタンと LED の位置を示します。



トラブルシューティング

このセクションでは、DBCS プリンターの問題の解決方法について説明します。

問題を解決するには、以下のようにします。

1. 次の「予備的なチェックリスト」に進み、そのステップを実行します。それでも問題が解決できない場合は、
2. 「LED を介した問題の解決」に進み、そこで問題を解決してみてください。それでも問題が解決できない場合は、
3. 13ページの『診断』に進み、そこで問題を解決してみてください。

予備的なチェックリスト

NetVista Kiosk の電源をオンにすると、NetVista Kiosk は電源オン自己テスト (POST) を実行します。システムは 1 回のピープ音で POST が正常終了したことを知らせます。スキャナーは、電源をオンにするとピープ音を 4 回鳴らすことがあります。システムがエラー・メッセージを表示したり、2 回以上ピープ音を出した場合は、ハードウェア保守ガイドの 42 ページの『POST エラー・コード』または 46 ページの『POST ピープ音のコード』を参照してください。

それ以外の場合は、以下のステップを実行して問題を診断してください。

1. キオスク・エンクロージャー内の電源ストリップが UPS に接続されており、電源がオンになっていることを確認します。
2. 装置が AC 電源ソケットに接続されており、すべての電源ライトがオンになっていることを確認します。
3. すべてのケーブルと入出力装置が正しく、しっかりと接続されていることを確認します。
4. コントラストと輝度の制御機構が正しく設定されていることを確認します。ピンを使用して、ディスプレイの下部右方にあるこれらの制御機構を調整してください。
5. トラブルシューティングのために、すべてのエラー・メッセージと症状を記録します。

特定のエラー表示がない場合は、12ページの『LED を介した問題の解決』にある問題解決手順に進んでください。

注:

1. 内部オプションに関連した問題あるいは周辺装置に関連した問題の場合は、サービス・ディスクレットを使用することができます。インストールおよび操作ガイドの x ページの「サービス・ディスクレット、デバイス・ドライバー、および、診断情報」を参照してください。
2. システムに接続する装置には、テスト手順書が付いているものがあります。これらの装置をテストするときには、その手順書を参照してください。
3. 特定のアプリケーションを使用している場合は、アプリケーション固有のエラー・メッセージが表示されることがあります。そのソフトウェアと一緒に提供されているソフトウェア・マニュアルを参照してください。

LED を介した問題の解決

このセクションでは、LED を使用してプリンターの操作上の問題を解決する方法およびプリンターのハードウェア障害を診断する方法について説明します。



プリンター状況		エラー・リカバリー	LED4	LED3	LED2	LED1
電源オフ			オフ	オフ	オフ	オフ
初期化		1	オン	オン	オン	オン
ハードウェア・エラー		2	明滅	明滅	明滅	明滅
オンライン	用紙: あり	正常動作	オン	オン	オフ	オフ
	終端に近い	12	オン	オン	明滅	オフ
オフライン	用紙: あり	3	オン	オフ	オフ	オフ
	終端に近い	3、12	オン	オフ	明滅	オン
ヘッド温度エラー		4	オン	明滅	オフ	オン
モーター温度エラー		5				
プレゼンター内部に用紙		6				
プラテンが開いている		7	オン	オフ	オン	オン
カッター・エラー		8				
プレゼンターの上ガイドのエラー		9				
プレゼンター・ジャム・エラー		10				
用紙切れ		11	オン	オフ	オン	オン

該当するエラー・リカバリー番号に進み、説明されているリカバリー方式を実行してください。

番号	説明	リカバリー方式
1	初期化	初期化のプロセス中。 プリンター・ユニットは、電源オンおよびリセットの直後に初期化を開始する。 初期化の後に、オンライン状態になる。 初期化の実行中にエラーが発生した場合は、プリンター・ユニットはハードウェア・エラーになる。
2	ハードウェア・エラー	プリンターの機構またはボード (あるいはその両方) が異常。 リカバリーは不可能。分析または修理を依頼する。
3	オフライン	Select ボタンを押してエラーを取り除いた後に、プリンター・ユニットはオフラインになる。 Select ボタンを押す。

4	ヘッド温度エラー	ヘッドの温度が -10°C 以下か 80°C 以上。 ヘッドの温度が -5°C ~ 75°C のときは、プリンター・ユニットはオフライン状態になる。
5	モーター温度エラー	モーターが 10 分を超えて稼働すると、プリンター・エラーが発生する。 プリンター操作を一時停止すると、プリンターはオンライン状態になる。
6	プレゼンター内部に用紙	プレゼンター内に用紙がある。 用紙がプレゼンターから除去されると、プリンターはオンライン状態になる。
7	プラテンがアップ状態でエラー	プラテンがアップ位置にある。 プラテンを下げる。プリンターは、即時にオンライン状態になる。
8	カッター・エラー	カッター・ユニットにエラーが発生している。 電源をオフにして、カッター・ユニットにからんでいる用紙を取り除く。電源をオンにすると、プリンターはオンライン状態になる。
9	プレゼンターの上 部ガイドのエラー	プレゼンター・ユニットの上部ガイドが開いている。 プレゼンター・ユニットの上部ガイドを閉じる。上部ガイドを閉じると、プリンター・ユニットはオフライン状態になる。
10	プレゼンター・ジ ャム・エラー	用紙がプレゼンター内部で詰まっている。 プレゼンターの上部ガイドを開いて、用紙を取り除く。 上部ガイドを閉じると、プリンター・ユニットはオフライン状態になる。
11	用紙切れによるエ ラー	用紙切れ。 用紙をセットする。用紙がセットされると、プリンターはオフライン状態になる。

診断

このセクションでは、プリンター・エラーの症状、考えられる原因、および、必要な訂正処置について説明します。

	エラーの症状	参照ページ
1	電気が来ない。	14
2	電源はオンになっているが、機能が使用不可になっている。	14
3	プリンター・ユニットのモーターが回転しない。	15
4	プレゼンターのモーターが回転しない。	15
5	用紙がプレゼンターから出てこない。	16
6	カッター・ユニットが作動しない。	16
7	「プラテンが開いている」が検出された。	17
8	「上部ガイドが開いている」が検出された。	17
9	「用紙切れ」が検出されない。	17
10	「マーク位置」が検出されない。	18
11	終端に近いままの状態。	18

12	印刷ドットが欠落する。	18
13	印刷密度が正しくない。	19
14	用紙送りのピッチにむらがある。	20
15	異常な音が出る。	21
16	伝導が実行できない。	21

1. 電気が来ない。

症状: 電力はプリンター・ユニットに供給されているが、プリンター・ユニットは始動せず、LED もオンにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。
コネクタの接触が不完全	テスターで電源機構の出力電圧を測る。	24V±5%	
Vcc 回路障害	ボード上の IC の Vcc と GND の間の電圧を測る。	5V±5%	

症状: 電力はプリンター・ユニットに供給され、プリンター・ユニットは始動するが、LED がオンにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。

2. 電源はオンになっているが、機能が使用不可になっている。

症状: LED の 1 ~ 4 がオンのままになっている。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。

症状: LED の 1 ~ 3 が明滅し続ける。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
コネクタの接触が不完全	テスターで電源機構の出力電圧を測る。	24 V±5%	電源装置を取り替える。

プリンター・ユニットの抵抗が正しくない。	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

3. プリンター・ユニットのモーターが作動しない。

症状: Feed ボタンが押されたが、モーターが作動しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
モーターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入し直す。
プラテン・オープン・センサーの障害	テスターで、プラテン・センサーの継続性を検査する。	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥 Feed ボタン	テスターで、Feed ボタンの継続性を検査する。	短絡	
モーターのリード線の切断、または欠陥モーター	プリンター・ユニット内の、CN301 に対応する、ボード・フレーム・ユニット上のコネクタを取り外す。次に、テスターで、ピン 1 と 3 の間、および、ピン 2 と 4 の間の抵抗を測る。	7.0±0.77Ω	
異常なモーター駆動機構回路	オシロスコープで、モーターの位相とアース電圧を測る。	パルス波形 (波高: 約 24V)	

4. プレゼンターのモーターが作動しない。

症状: Feed ボタンが押されても、モーターが作動しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
上部ガイドが開いている。	プレゼンターを上部ガイドに保持するねじがしっかり締められていることを確認する。	--	ねじをしっかり締める。

モーターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入し直す。
上部ガイドの欠陥スイッチ	テスターで、上部ガイドのスイッチの継続性を検査する。	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。
モーターのリード線の切断、または欠陥モーター	プレゼンター内の、CN501 に対応する、ボード・フレーム・ユニット上のコネクタを取り外す。次に、テスターで、ピン 1 と 3 の間、および、ピン 2 と 4 の間の抵抗を測る。	40±4.4Ω	
異常なモーター駆動機構回路	オシロスコープで、モーターの位相とアース電圧を測る。	パルス波形 (波高: 約 24V)	

5. 用紙がプレゼンターから出てこない。

症状: 印刷中に、または、用紙がプレゼンターからフィードされて出てくるときにエラーが発生した。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
プレゼンターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入し直す。
プレゼンターのセンサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンターを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

6. カッターが作動しない。

症状: テストの出力印刷中に、カッターが作動しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
カッターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入し直す。

カッターに欠陥	--	--	プリンターを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

7. プラテンが開いている状態が検出されない。

症状: プラテンが開いている状態がセンサーによって検出されないが、プリンター・ユニットがオフラインにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
開いているプラテン・スイッチ	テスターで、プラテン・スイッチの継続性を検査する。	プラテンが開いている: オープン	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

8. 上部ガイドが開いている状態が検出されない。

症状: 上部ガイドが開いているが、プリンター・ユニットがオフラインにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
上部ガイドの欠陥スイッチ	テスターで、上部ガイドの継続性を検査する。	上部ガイドが開いている: オープン	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥フレーム・ユニット	--	--	

9. 用紙切れ状態が検出されない。

症状: 用紙切れの状態になっても、プリンター・ユニットがオフラインにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
用紙検出機能のコネクターの接触が不完全	コネクターを視覚検査する。	--	コネクターを正しく挿入し直す。
用紙検出機能に欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
オプション・センサーのコネクターの接触が不完全	コネクターを視覚検査する。	--	コネクターを正しく挿入し直す。

オプション・センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

10. マークされた位置が検出されない。

症状: プリンター・ユニットがマークされた位置で停止しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
オプション・センサーのコネクターの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入し直す。
オプション・センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
ボード・フレーム・ユニットに欠陥	--	--	

11. プリンター・ユニットが、終端に近いままの状態を続けている。

症状: ロール用紙がまだ十分あるのに、LED2 が明滅する。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
ロール用紙ホルダーの用紙幅設定が正しくない	ロール用紙ホルダーの用紙幅設定を視覚検査する。	--	ロール用紙ホルダーの用紙幅設定をロール用紙に一致させる。
近端センサーのコネクターの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入し直す。
近端センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
ボード・フレーム・ユニットに欠陥	--	--	

12. 印刷ドットが欠落する。

症状: 印刷されないドットがある。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置

感熱ヘッドに異物が付着	感熱ヘッドの表面に異物が付着していないか視覚検査で調べる。	--	少量のエチル・アルコールで湿した綿棒で異物を取り除く。
欠陥感熱ヘッド	テスト印刷を実行して、すべてのドットが印刷されているか視覚検査する。	--	問題が続く場合は、プリンター・ユニットを取り替える。

13. 印刷密度が正しくない。

症状: すべてのドットが薄いかぼやける。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
感熱ヘッドに異物が付着	感熱ヘッドの表面に異物が付着していないか視覚検査で調べる。	--	少量のエチル・アルコールで湿した綿棒で異物を取り除く。
感熱ヘッドの高抵抗によるヘッド・ブロックの欠陥	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。

症状: 薄いかぼやけるドットがある。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
プラテン表面に損傷 / くぼみがある、または、感熱ヘッドに異物が付着	プラテン表面を視覚検査する。	--	プラテンに損傷 / くぼみがある場合は、プリンター・ユニットを取り替える。異物が付着している場合は、取り除く。
感熱ヘッドのコネクターの接触が不完全	接続を視覚検査する。	--	コネクターを正しく挿入し直す。
感熱ヘッドに異物が付着	感熱ヘッドの表面に異物が付着していないか視覚検査で調べる。	--	少量のエチル・アルコールで湿した綿棒で異物を取り除く。

症状: 印刷出力全体が濃い。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置

欠陥サーミスター	ヘッド内の、ボード・フレーム・ユニット CN403 に対応するコネクタを取り外し、ヘッド・コネクタ 6 番と 7 番の間の抵抗を測る。	約 30Ω(25°C) (温度によって変わる)	プリンター・ユニットを取り替える。
用紙の設定が正しくない	テスト・パターンを印刷する。	--	機能設定で、用紙を正しくセットする。

症状: 印刷密度にむらがある。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
プラテン表面に損傷 / くぼみがある、異物が付着、またはプラテンに欠陥	プラテン表面を視覚検査する。	--	プラテンに損傷 / くぼみがある場合は、プラテン・ブロックを取り替える。 プラテンに異物が付着している場合は、取り除く。

14. 用紙送りのピッチにむらがある。

症状: 用紙送りが正しく実行されない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
モーターのリード線の切断、または欠陥モーター	プリンター・ユニット内の、ボード・フレーム・ユニット CN301 に対応するコネクタを取り外し、テスターで、プリンター・ユニット・コネクタ・ピン 1 と 3、および 2 と 4 の間の抵抗を測る。	7.0±0.77Ω	プリンター・ユニットを取り替える。
異常なモーター駆動機構電圧	オシロスコープで、モーターの位相とアース電圧を測る。	パルス波形 (波高: 約 24V)	
モーター・ギアの損傷または異物	モーター・ギアの損傷または異物がないか視覚検査で調べる。	--	ギアに異物が付着している場合は、取り除く。または、プリンター・ユニットを取り外す。
用紙送り中の過剰な負荷	用紙の設定を視覚検査する。	--	用紙をセットし直す。

15. 異常な音。

症状: 用紙送り中に、プリンター・ユニットの中またはプレゼンター・ユニットの中で、異常な音が聞こえる。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
モーター・ギアの損傷または異物	モーター・ギアの損傷または異物がないか視覚検査で調べる。	--	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥モーター	用紙をセット / フィードして、モーターの音を検査する。	--	

16. 伝導が実行できない。

症状: 伝導が選択できない。

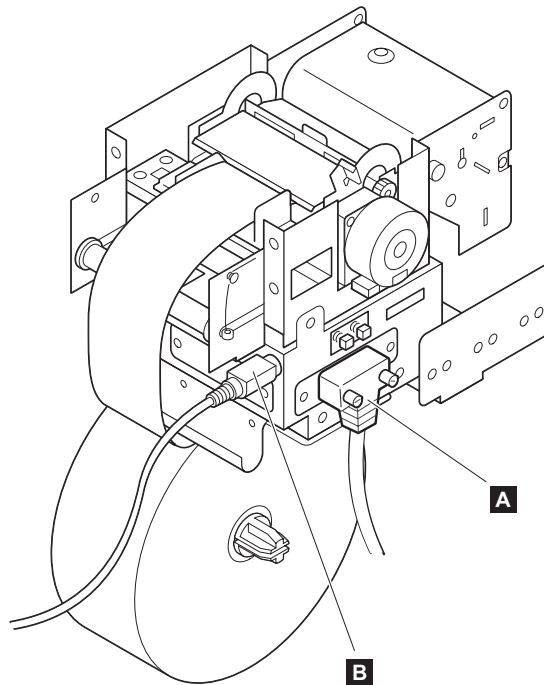
考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準と規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。

プリンター・ユニットの取り外しと取り替え

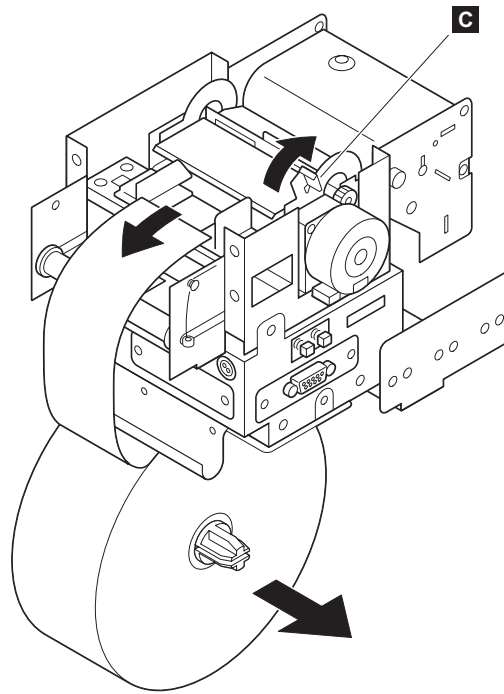
プリンター・ユニットの取り外しまたは取り替えを行うには、以下のステップを実行します。

重要: この装置に触れる前に身体を接地してください。詳しくは、ハードウェア保守ガイドの、164 ページの『静電気の放電 (ESD)』を参照してください。

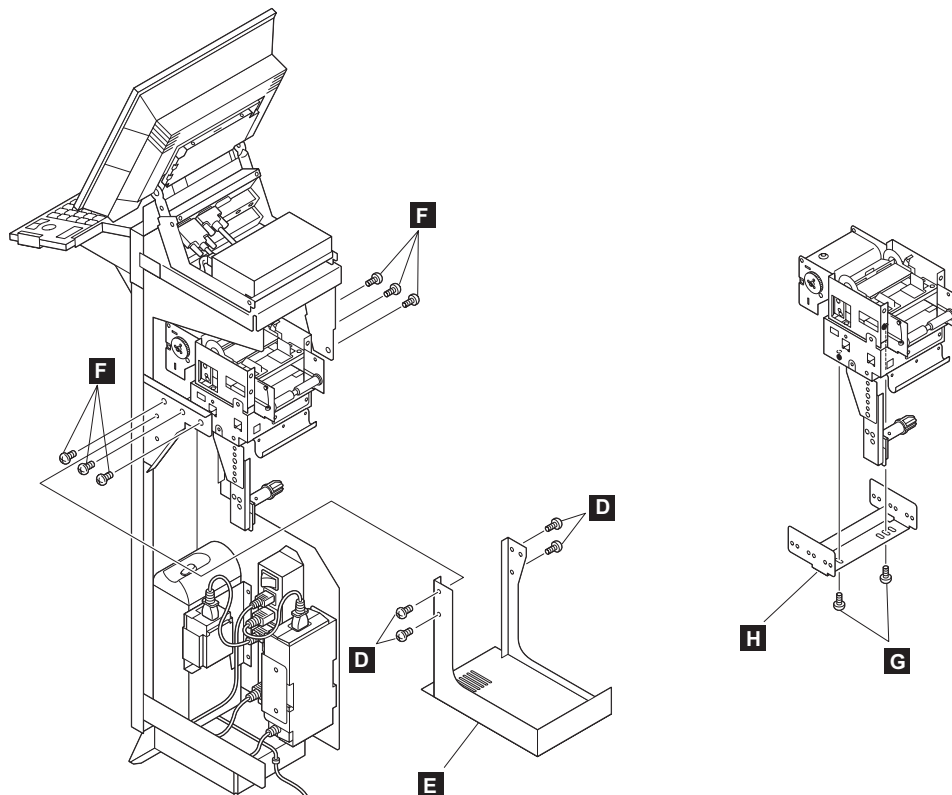
1. プリンターを取り外す前に、サービス・ディスクの Utilities メニューにある Backup/Restore Printer Parameters オプションを使用して、カスタマーのプリンター・パラメーターをディスクにバックアップしてください。ハードウェア保守ガイドの『システムの診断とトラブルシューティング』を参照してください。
2. NetVista Kiosk の電源をオフにします。4ページの『NetVista Kiosk の電源をオフにする』を参照してください。4835、プリンター、スキャナー、電源供給スイッチ、および、UPS の電源がすべてオフになっていることを確認してください。
3. キオスクのエンクロージャーまで延びている電源コードを、外部 AC 電源コンセントから外します。
4. プリンターの電源コードを電源ストリップから外します。
5. RS-232 ケーブル **A** をプリンター・ユニットから外します。
6. 24V DC 電源ケーブル **B** を、プリンターの電源コネクタから外します。



7. 用紙を切り取るか、または、印刷ヘッドのレバー **C** を前方に動かして、印刷ヘッド機構から用紙を抜き、ロール用紙を取り外します。



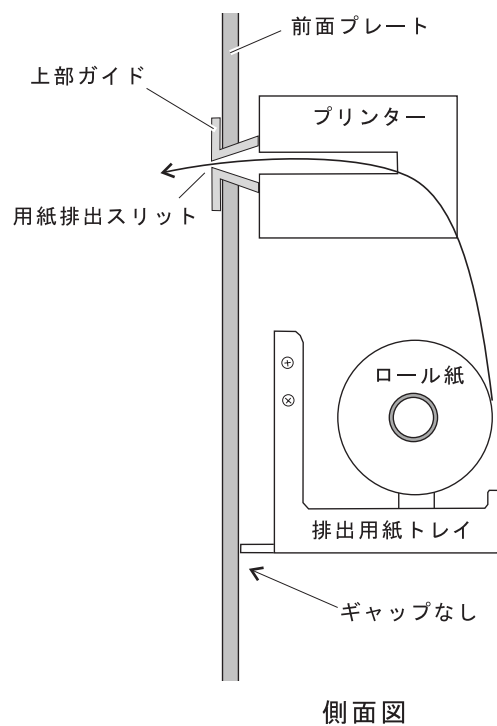
8. 4つのねじ **D** を外し、排出用紙トレイ **E** を取り外します。
9. 6つのねじ **F** を外し、エンクロージャーからプリンターを注意深く取り外します。
10. 2つのねじ **G** を外し、ブラケット **H** をプリンター・ユニットから取り外します。



11. プリンターを取り替えるには、この手順を逆に実行します。
12. サービス・ディスクの Utilities メニューにある Backup/Restore Printer Parameters オプションを使用して、カスタマーのプリンター・パラメーターをディスクに復元してください。ハードウェア保守ガイドの『システムの診断とトラブルシューティング』を参照してください。

13. 次のことを確認してください。

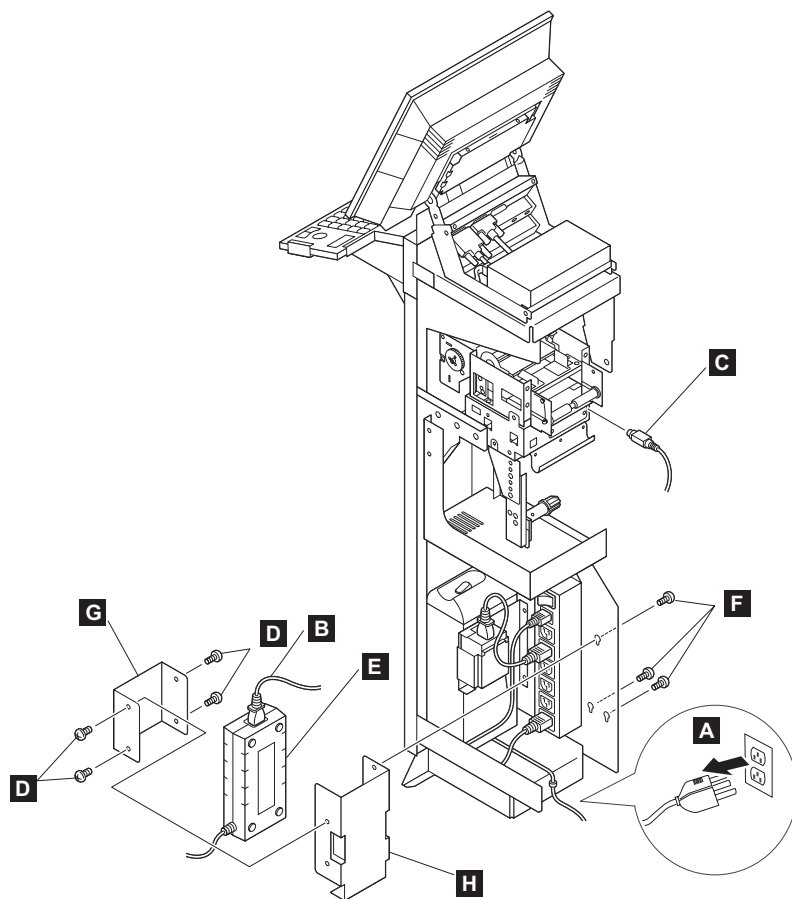
- プリンターの上部ガイドが、前面プレート用の紙排出スリットに位置合わせを行い、ロール紙がスムーズに排出されるようプリンターを取り付けて下さい。
- 前面プレートと排出用紙トレイの間に隙間がないように排出用紙トレイを取り付けて下さい。



プリンターの電源機構の取り外しと取り替え

プリンターの電源機構の取り外しまたは取り替えを行うには、以下のステップを実行します。

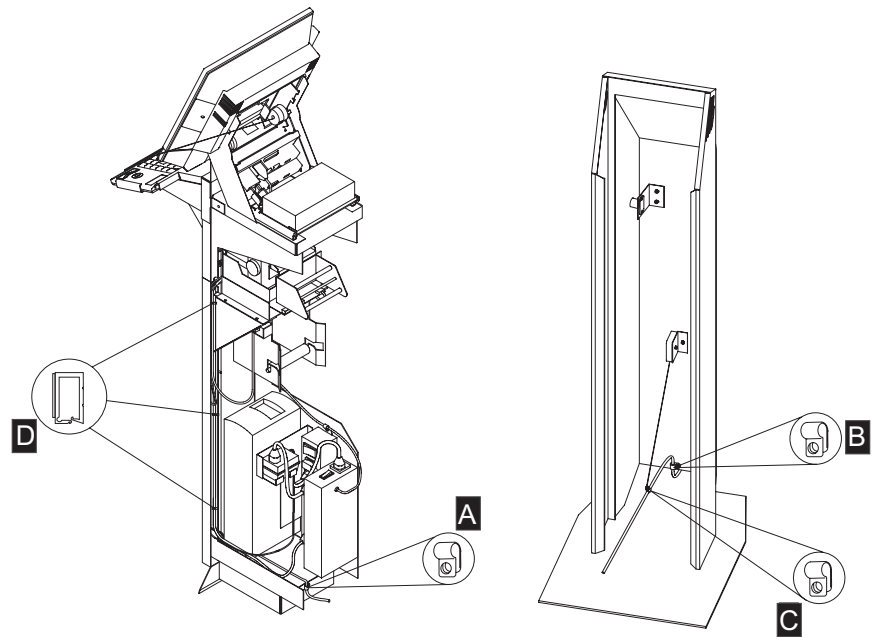
1. NetVista Kiosk の電源をオフにします。4ページの『NetVista Kiosk の電源をオフにする』を参照してください。4835、プリンター、スキャナー、電源供給スイッチ、および、UPS の電源がすべてオフになっていることを確認してください。
2. キオスクのエンクロージャーまで延びている電源コード **A** を、外部 AC 電源コンセントから外します。
3. プリンターの電源機構の電源コード **B** を、電源供給ストリップから外します。
4. 24V DC 電源ケーブルを、プリンターの電源コネクタ **C** から外します。ケーブル・リテーナーを外して、エンクロージャーから外します。
5. プリンターの電源機構 **G** に付いている 4 つのねじ **D** を外します。
6. 電源 **E** の 3 つのねじ **F**、および、前面 **G** と背面 **H** のブラケットを緩めます。
7. プリンターを復元するには、この手順を逆に実行します。



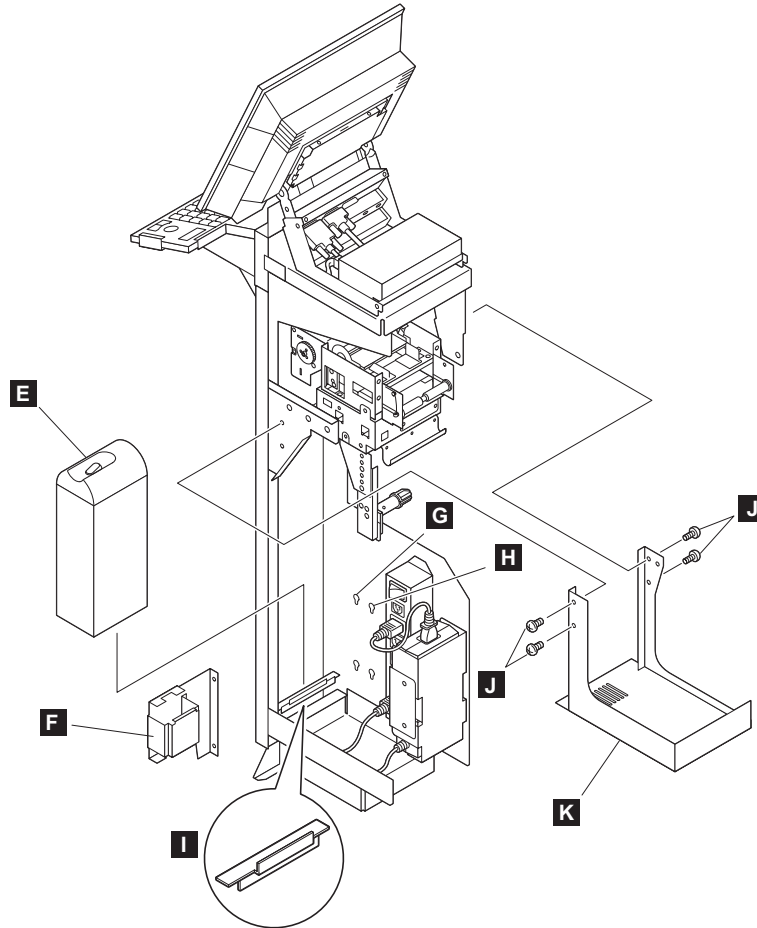
UPS の取り外しと取り替え

UPS の取り外しまたは取り替えを行うには、以下のステップを実行します。

1. NetVista Kiosk の電源をオフにします。4ページの『NetVista Kiosk の電源をオフにする』を参照してください。4835、プリンター、スキャナー、電源供給スイッチ、および、UPS の電源がすべてオフになっていることを確認してください。
2. キオスクのエンクロージャーまで延びている電源コードを、外部 AC 電源コンセントから外します。
3. 4 つのねじ **J** および排出用紙トレイ **K** を外します。27 ページの図を参照してください。
4. 3 つの UPS 電源コード・ケーブル・リテーナー **A**、**B**、および **C** を切り離します。
5. UPS RS-232 インターフェース・ケーブルを、ケーブル・クランプ **D** から外します。



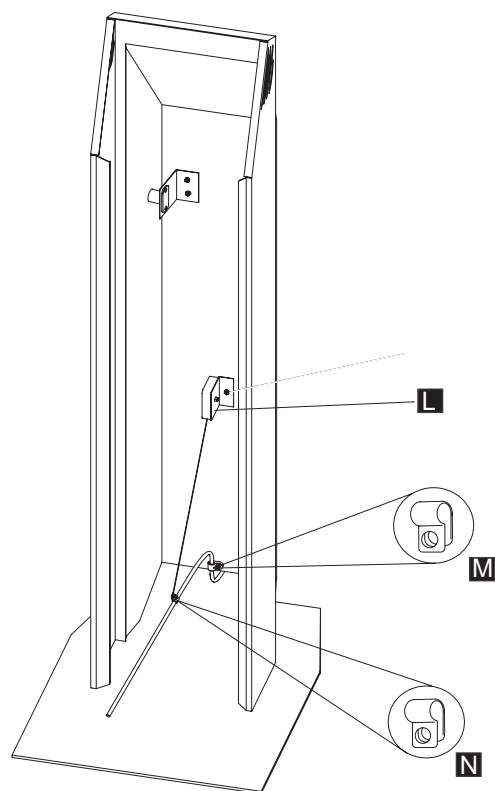
6. UPS に行っている電源供給ストリップの電源コードを外します。
7. UPS ブラケット **F** を外します。
 - a. 2 本のねじ **G** (BK500 シリーズの UPS 用) または **H** (BK650 UPS 用) を緩める。
 - b. UPS ブラケット **F** を持ち上げて、メタル・サポート **I** から外します。



8. 以下のケーブルを UPS に接続します。
 - a. RS-232 インターフェース・ケーブルを UPS の背面パネルに接続します。

注: この接続によって、NetVista Kiosk は、バックアップ・バッテリーの寿命をモニターすることができます。
 - b. UPS 背面の黒色のコンセントに、電源供給ストリップの電源コードを接続します。
9. UPS 電源ケーブルをエンクロージャーの背面またはフロア・マウント・プレートの中央から引き出して、適切な AC 電源コンセントに接続します。
10. UPS のケーブル端を下にし、UPS の足をエンクロージャー内側の壁面に向けて、UPS **E** をエンクロージャーの前面に差し込みます。エンクロージャーの前面下端の近くにあるメタル・サポート **I** まで UPS を降ろします。
11. UPS ブラケット **F** を再び取り付け、2 つのねじ **G** または **H** を締め、ブラケットを固定します。

12. 排出用紙トレイ **K** を再び取り付けて、4 つのねじ **J** を締めます。



13. 上の図を参照してください。次のステップを実行して、UPS 電源コードをケーブル・リテーナーに固定してください。
- エンクロージャーの内側背面にある巻き取りスプール **L** の位置を確認してください。巻き取りスプール・ケーブルの端に接続されているケーブル・リテーナー **N** を使用して、巻き取りスプールを UPS 電源コードに取り付けます。
 - エンクロージャーの底面に付けられているケーブル・リテーナー **M** の位置を確認してください。このケーブル・リテーナーを UPS 電源コードに取り付けます。
14. ケーブル・クランプを使用して、UPS RS-232 インターフェース・ケーブルを配線し、固定します。クランプの位置については、26 ページの図の **D** を参照してください。
15. NetVista Kiosk 4835 の背面テールゲート・コネクタにケーブルを接続します。
16. UPS を取り付けるには、この手順を逆に実行します。

注: プリンターの上部ガイドが、前面プレートの用紙排出スリットに正しく位置合わせされていること、および、前面プレートと排出用紙トレイの間にギャップがないことを確認してください。詳しくは 25 ページの 13 を参照してください。

パーツのアセンブリー

アセンブリ の索引	部品番号	ユニッ ト数	説明
4-			エンクロージャー FRU
-1	10J1216	1	パネル 1 -- プリンターおよびスキャナー付き
-1	10J1217	1	パネル 2 -- プリンターなし、スキャナー付き
-1	10J1218	1	パネル 3 -- プリンター付き、スキャナーなし
-1	10J1219	1	パネル 4 -- プリンターなし、スキャナーなし
-2	10J1222	1	キーボード・トレイ・キット
-3	10J1223	1	キーロック (1 キー付き)
-4	10J1381	1	エンクロージャー・ドロワー・スライド (1 つのみ)
-5	10J1383	1	巻き取りスプール
-	10J1405	1	キーロック・アセンブリー用のキー (図になし)
-	10J1510	1	ファスナー・キット (すべてのねじ、ナット、ワッシャー、およびケーブル・クランプ) (図になし)
			システム装置 FRU
-6	10J1379	1	スピーカー付き装置のボタン・カバー
-6	10J1380	1	スピーカーのない装置のボタン・カバー
-	10J1432	1	カバー・プレート、キーボード・ケーブル (図になし)
-7	10J1511	1	HDD カバー (傾斜止めがある場合)
-7	20P3954	1	HDD カバー (傾斜止めがない場合)
-8	10J1406	1	PC カード・カバー
-	10J1511	1	システム装置部品キット (ガスケット、ドリップ・シールド、HDD カバー、傾斜止め) (図になし)
-	05K2844	1	外付けディスク・ドライブ・ケーブル (図になし)
-	15K2025	1	Y ケーブル、キーボード (図になし)
-	34G0239	1	システム装置電源コード (世界対応、日本を除く) (図になし)
-	34G0242	1	システム装置電源コード (日本専用) (図になし)
			プリンター FRU
-9	57P4283	1	FRU AP 58mm DBCS プリンター 韓国語
-9	57P4284	1	FRU AP 58mm DBCS プリンター 中国語 (簡体字)
-9	57P4285	1	FRU AP 58mm DBCS プリンター 中国語 (繁体字)
-9	57P4286	1	FRU AP 80mm DBCS プリンター 韓国語
-9	57P4287	1	FRU AP 80mm DBCS プリンター 中国語 (簡体字)
-9	57P4288	1	FRU AP 80mm DBCS プリンター 中国語 (繁体字)
-9	57P4289	1	FRU AP 112mm DBCS プリンター 韓国語
-9	57P4290	1	FRU AP 112mm DBCS プリンター 中国語 (簡体字)
-9	57P4291	1	FRU AP 112mm DBCS プリンター 中国語 (繁体字)
-9	57P4241	1	FRU AP 58mm DBCS プリンター 日本語

-9	57P4131	1	FRU AP 112mm DBCS プリンター 日本語
-9	57P4132	1	FRU AP 80mm DBCS プリンター 日本語
-10	57P4133	1	FRU パワー・プリンター SII
-	57P4136	1	FRU RS232C ケーブル
-	57P4249	1	FRU 排出用紙トレイ・アセンブリー
			キーボード FRU
-12	10J1276	1	キーボード、米国英語
-12	10J1279	1	キーボード、スペイン語
-12	10J1282	1	キーボード、カナダ・フランス語
-12	10J1285	1	キーボード、イタリア語
-12	10J1288	1	キーボード、ドイツ語
-12	10J1291	1	キーボード、ブラジル・ポルトガル語
-12	10J1294	1	キーボード、フランス語
-12	10J1318	1	キーボード、英国英語
			UPS FRU
-13	10J1263	1	UPS、APC BK500MC (低電圧、日本を除く)
-13	10J1266	1	UPS、APC BK650MI (高電圧)
-13	10J1269	1	UPS、APC BK500JS (日本専用)
-	10J1367	1	UPS 交換用バッテリー、APC RBC2 (低電圧) (図になし)
-	10J1368	1	UPS 交換用バッテリー、APC RBC4 (高電圧) (図になし)
-		1	UPS 電源コード。(図になし)



部品番号: 57P4240

Printed in Japan

GY88-8015-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

(1P) P/N: 57P4240

